

パナマ内政・外交（２０２２年８月定期報告）

【ポイント】

○１０日、コルティソ大統領は３０％の医薬品価格引下げにかかる政令第１７号に署名した。２９日、全国薬局オーナー連合（Unprofa）は、同政令の効力の停止を求め、最高裁に提訴した。

○７日、カリソ副大統領及びモイネス外相はペトロ・コロンビア新大統領の就任式出席のため、コロンビアを訪問した。

○３１日、政府は、公的支出抑制策の一環として、行政府の公務員を対象とした希望退職者制度を規定する政令を官報にて公布・発効した。

○３１日、コルティソ大統領は、昨年１０月に立法化された医療用大麻法の規則にかかる２つの政令に署名した。

○１２日、パナマはニカラグア国民の人権の尊重及び民主主義体制の再確立を求めるニカラグア情勢に関する米州機構の決議を採択した。

○２９日から３１日、モイネス外相は「中南米・アフリカ諸国の戦略的同盟」対話出席のためチュニジアを訪問した。

【本文】

●内政

１ 医薬品価格引下げ等を中心とした政府の対応

（１）（７月下旬より、政府はガソリン・食料品・医薬品の価格引下げ等について、統一对話を通じて市民団体の要望に応じてきたが、）１０日、建設労組（Suntracks）は、政府が同対話での合意事項を遵守していないとして、再び、全国各地で道路閉鎖を伴う抗議活動を行った。

（２）１０日、コルティソ大統領は３０％の医薬品価格引下げ（１７０の医薬品）にかかる政令第１７号に署名した。同月１５日より適用される同措置は、６か月間有効かつ延長可能となっている。なお、年金受給者は従来の２０％割引に加え今次措置が適用されるため、５０％の価格引下げとなる。

（３）政府は、今次価格引下げは医薬品メーカー、販売代理店及び薬局の３者で負担するとしているが、１５日、医薬品価格引下げに反発する多くの薬局は、休業して抗議した。

（４）１６日、コルティソ大統領は、医薬品価格引下げを目的として、薬局による医薬品輸入を可能とする政令に署名した。これに伴い、２２日、スクレ保健大臣は１９６３年法律第２４号第８条(d)の改正法案を国会に提出した。

（５）２９日、全国薬局オーナー連合（Unprofa）は、上記政令が違憲であるとして効力の停止を求め、最高裁に提訴した。

2 希望退職者制度の開始

31日、政府は、ウクライナ紛争の影響により深刻化している経済危機に対し、（本年7月に発表した）公的支出抑制策の一環として、行政府の公務員を対象とした希望退職者制度を規定する政令第204号を官報にて公布・発効した。今次対象者には公的年金を受給しながら勤務している者や早期退職希望者が含まれる。

3 医療用大麻法の規則にかかる政令

31日、コルティソ大統領は、昨年立法化された医療用大麻及び派生品使用に関する法律第242号（2021年10月16日発効）の規則にかかる2つの政令（第85号及び第121号）に署名した。同政令には医療用大麻の輸入・輸出・栽培等の他、「医療用大麻に関する活動モニタリング局」の創設（治安省管轄）等に関する規則が含まれる。

●外交

1 カリソ副大統領のペトロ・コロンビア新大統領の就任式出席

（1）7日、カリソ副大統領はコルティソ大統領の名代として、グスタボ・ペトロ（Gustavo Petro）コロンビア新大統領の就任式出席のため、コロンビア（ボゴタ）を訪問した。同就任式にはモイネス外相及びサパタ労働開発大臣も出席した。

（2）6日、コロンビアを訪問したモイネス外相はアルバロ・レイバ（Alvaro Leyva）コロンビア新外相と外相会談を行い、移民、安全保障、貿易、投資及び環境保護といった二国間の優先課題について意見交換した。

（3）同6日、モイネス外相はコロンビアにおいて、「民主主義の発展のための同盟」国であるコスタリカ、ドミニカ共和国及びエクアドル（本年6月に「民主主義の発展のための同盟」に加盟以降、初の参加となった。）の外相と会談した。なお、今次コロンビア訪問に先立ち、モイネス外相はマルケス・コロンビア新副大統領と電話会談を行った。

2 ニカラグア情勢にかかる米州機構における決議の採択

12日、パナマは米州機構（OAS）加盟国26か国とともに、ニカラグア国民の人権の尊重及び民主主義体制の再確立を求めるニカラグア情勢に関する決議を採択した。

3 中国政府による卓球用品の寄贈

24日、パナマ外務省はモイネス外相及びWeia Secas在パナマ中国大使の立ち合いの下、国際協力の一環として、中国政府よりパナマ卓球連盟に卓球用品が寄贈された旨発表した。

4 モイネス外相のチュニジア訪問

29日から31日、モイネス外相は「中南米・アフリカ諸国の戦略的同盟（Strategic Alliance: Latin America Meeting Africa: SALMA）」対話へ出席のためチュニジアを訪問した。50か国以上の代表団が参加した今次対話では、モイネス外相は講演を行った他、31日、オスマン・ジェランディ（Othman JERANDI）チュニジア外相と初会談した。

（了）